

# 私たち、インスタグラマ~になります!



M「本日お集まりいただいたのは他でもない。チームYAに重大な発表があります。なんと、私たちはブログから昇格してインスタグラムを始めることになりました!」  
F「…ついに私たちもインスタデビューですね!」

S「私たちはインスタグラマーになるんですね!!」

M「そうよ!三田市立図書館のなかで最先端の活動をするのです!ところでね、君たちはインスタをやっているのかな?」

F&S「…閲覧のみですね。Mさんは?」

M「私?閲覧すらしたことないわよ。インスタってあれでしょ、ハッシュタグとか意識高い人が空の写真を投稿するとかいうやつ」

F「…なんだかものすごく断片的な知識ですね」

M「さて、これがホンダラケインスタのページです。まだ非公開だから投稿の練習をしてみよう。…?おうなんだこりゃ」

S「Mさん、まず写真を選ぶんですよ」

M「おお、なるほど。ではSさんが曲げた(!)スプーンの写真を…えい」

F「次は文章とハッシュタグを入れるんですよ~。ハッシュタグはなるべくたくさん入れた方がいいそうです」

M「じゃ、こうかな。#三田市立図書館#ホンダラケ#超能力#スプーン曲げ」

S「後半違う方向に拡散していく気が…」

M「拡散上等。インスタグラマーになった以上、更新目標は週一ね!更新ネタに困った時はとりあえず空とか花とか自分の影とかを撮る!!」

F「ここでそんなこと公表したら、空の写真はネタ切れってバれますよ!!」

S「ところで今までのブログはどうなるんでしょう?」

M「もしかしたらブログの書籍化の依頼が来るかもしれないし、過去の思い出としてしばらくは置いておきましょう~」

F「書籍化は自費出版でしょうか」

S「同人誌みたいに自分たちで配布」

M「あんたたちっていつも現実的ね…」



←インスタは  
ココ



<https://www.instagram.com/hondarake55>

←ブログはこっち <http://sanda-city-lib-ya.sblo.jp/>

☆ YA通信 ☆

# HONDARAKE



2021.2.1

## おお!友よ!!

やっぱりねえ、ヤング時代の宝物って言ったら友達ですよ。一緒に勉強したり、部活したり、恋の相談をしたり、同じ記憶を共有できる相手がいるってちょっと素敵なことなんだよね。

## 『完パケ!』

額賀 澤:著 講談社 2018年刊 F/ヌカ



武蔵映像大学(通称ムサエイ)に通う北川と安原。自信にあふれ、実家も裕福な北川に対し、思ったことをなかなか口に出せず、母子家庭で苦労生活の安原。そんな二人だけれど「映画監督なること」という共通の夢を持つことで、微妙な友情を育んでいる。卒業制作の監督に選ばれた安原にプロデューサーを頼まれた北川は、あろうことか作品をカンヌ国際映画祭に出品することを提案するが…。ちなみに完パケとは完全パッケージ、つまり売れる状態まで完成させることだそう。二人は作品も友情も完パケできるのでしょっか?

## ホンダラケとは

本誌は、読者の身も心も「本だらけ」にしてやろうという心意気から生まれた中高生向け小冊子です。本誌に登場する本は全て三田市立図書館本館のYA(ヤングアダルト)コーナーでご覧いただけます。

2か月に1度、年6回発行予定です。

ホンダラケは皆様の投稿をお待ちしております。YAコーナーに用紙・ポストがございますので、おすすめ本や本誌の感想・要望などお寄せ下さい。

# 青春読書記

～三田学園図書委員会より愛をこめて～

テーマは「失恋」。

バレンタインデー、ホワイトデーのある時季にあえてこのテーマをぶつけてきましたか……!

## 『食堂かたつむり』

主人公は恋人が家を出ていったショックとだれとも話したくないという思いから声が出なくなった女性。実家に帰り近所の人々の協力をえながら『食堂かたつむり』をオープンする。ここはお客さんを一日一組だけ受けつけ、お客さんの心情に合わせた料理を出す食堂。食堂のお客さんを通して主人公は色々な事を体験する。大切な人を失った時におすすめの本。

P.N. すずめ (中学1年生)



小川 系:著  
F/オガ  
ポプラ社 2008年刊

## 新着図書 Pick Up

『with you ウィズ・ユー』 濱野京子:著 2020年刊  
くもん出版



F/ハマ

夜のランニング中に、悠人は公園のブランコに座る朱音に出会う。悠人は重たい空気を背負う朱音のことが気になる。空を見上げる朱音がぼつりと言う。

「星が、うたっているみたい。」

朱音が、病気の母の介護と幼い妹の面倒を見なければいけないため、学業に集中することができないことを悠人は知り…。最近、報道でも取り上げられつつあるヤングケアラーをテーマに扱った小説です。

## 『こんな本、棚から見つけました』のコーナー

このコーナーでは、スタッフが棚を見て“再発見”をした本を紹介します

### 『みえない未来相談室。』

#### 『すきなコトを仕事にする方法』

k.m.p. なかがわみどり ムラマツエリコ著 2008年刊 河出書房新社



366/08

「とびぬけて得意なものもないし、進路を聞かれてもわからないよ」「仕事に就けなくて、生活苦に陥るのでは…」などなど。鼻で笑われるのでは、と誰にも言えずに悩みや不安を抱えている人は少なくないと思います。

k.m.p.のお二人も同じように悩まれていました。だからこそ、もやもやとした未来に関する悩みを優しく受け止めてくれます。そして、読んだ後、「なんとかなるかも」と思わせてくれるでしょう。

## YA世代のために血を吐く思いで名作を紹介するコーナー

### 『友情』 武者小路実篤:著 2003年刊 新潮社

傷ついても僕は僕だ。いつかは更に力強く起き上がるだろう。

脚本家を目指す青年、野島が杉子に恋をする青春恋愛小説です。杉子への純粹でひたむきな恋心が描かれ、親友の大宮にも気持ちを打ち明けるのですが…。結局、大宮と杉子が結ばれるということが、冒頭で明かされております。

「友情」っていうよりも、恋愛要素の方が強くない？って思いますが、大宮も好青年で、野島への友情を貫くために、必死で自分の気持ちを抑え杉子の猛アタックをかわそうとするのです。これは、友情だな。でも、恋心は誰にも止められないの！！スカッと爽やかな読後感が味わえるととても読みやすい作品です。



F/ムシ